

令和8年5月27日
北九州市産業経済局

報道機関各位

デジタル社会の要となる先進的なニッケル粉の生産能力を増強！

東邦チタニウム株式会社 若松工場にニッケル粉新工場(第5工場)が竣工

世界有数のニッケル粉メーカー「東邦チタニウム株式会社」の若松工場に新たな生産拠点(第5工場)が竣工しました。

新工場で生産能力が増強されるニッケル粉は、粒径がサブミクロン(1 μ mより小さい)という極めて微細かつ高品質な先端素材です。スマートフォン、電気自動車やAIサーバーをはじめ、暮らしや産業を支えるあらゆる電子機器に搭載される重要素材として、デジタル社会の根幹を担っています。

このニッケル粉は、積層セラミックコンデンサ(MLCC)の内部電極として使用されます。MLCCは、主に電気・電子製品などにおける「電源供給の補助・安定化」「ノイズの抑制」といった役割を果たし、機器の小型・高密度化にも大きく貢献します。機器の高性能化、軽量化、省スペース化が急速に進む中で、同製品の付加価値はますます高まることが期待されます。

世界のデジタル社会を、新工場・若松のものづくりが素材の力で支えています。同社の高付加価値素材をはじめ、北九州市は、経済成長と社会課題の解決を両立させる成長の芽「未来産業」を強化し、世界をリードするサステナブルシティとして、国際競争力を高めてまいります。

■企業概要

社名 東邦チタニウム株式会社
代表者 代表取締役社長 山尾 康二

■ニッケル粉新工場(第5工場)の概要

所在地 北九州市若松区響町1-62-1
生産品 ニッケル粉(超微粉ニッケル)
用途 スマートフォン、タブレット、PC等の電子機器の他、各種自動車電装部品に搭載される積層セラミックコンデンサの内部電極に使用

【武内市長のコメント】

東邦チタニウム様が若松工場に新工場を竣工されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

世界のデジタル化を支える高品質なニッケル粉の供給拠点が北九州市でさらに強化されることは、北九州の産業力と技術基盤の確かさを国内外に示す大きな意義を持つものです。今回の工場の竣工を力に、さらなる未来産業の集積とサプライチェーンの強化を通じて、デジタル社会における北九州市の可能性を世界へ広げてまいります。

【問い合わせ先】

産業経済局企業誘致課 (課長:宇野、係長:池田) 電話:093-582-2065

ニッケル粉新工場(第5工場)の竣工について

東邦チタニウム株式会社（本社：神奈川県、代表取締役社長：山尾 康二）は、このたび若松工場（福岡県北九州市若松区）において建設を進めてまいりましたニッケル粉新工場（第5工場）（以下「本工場」）が竣工しましたので、お知らせいたします。

本工場で生産される超微粉ニッケルは、当社化学品事業部の主力製品であり、粒径や表面状態をコントロールできる特長を活かし、積層セラミックコンデンサ（MLCC; Multilayer Ceramic Capacitor）の内部電極材料に使用されています。

当社はこれまでも同一敷地内においてニッケル粉工場を建設し、生産能力の増強を行ってまいりましたが、本工場の稼働により、小型化・大容量化が進む MLCC に対応した超微粉ニッケルの供給体制を一層強化し、今後の MLCC 市場の成長に対応した安定的な供給体制の確立に努めてまいります。

<ニッケル粉新工場(第5工場)の概要>

所在地 福岡県北九州市若松区響町 1-62-1 当社若松工場内



ニッケル粉新工場(第5工場) 外観

○本件に関するお問合せ先

東邦チタニウム株式会社 経営企画部総務グループ TEL 045-394-5522

以上